

科目番号	科目名	配当年次	授業形態	単位	担当教員
R301	社会科教育法Ⅱ /社会科・公民科教育法Ⅲ	3年	講義	2	寺内孝夫
<b>授業概要</b> 社会科教育法Ⅰの履修成果を踏まえて、中学校社会科地理的分野及び歴史的分野を担当する教師に必要な力量の育成を目標とする。そのため、両分野の内容構成と指導方法をはじめ授業構成論、学習指導論の講義・演習、事例に沿った学習指導案づくり、模擬授業の実施・分析、評価問題の作成等について、教育現場の様々な課題を見通しながら実践的力量の育成を目指した学修を進める。					
<b>到達目標(学習の成果)</b> 1 生徒の認識や思考、学力などの実態を視野に入れた授業設計の重要性を理解している。 2 地理・歴史教育の特性に応じた情報機器及び教材の効果的な活用法を理解し、授業設計に活用することができる。 3 地理・歴史教育を担当する教師に必要な授業展開に関する理論と方法の修得のもと、学習指導案の構成を理解し、具体的な授業を想定した授業設計と学習指導案を作成することができる。 4 地理学習・歴史学習の成果を適切に評価する方法の基礎を修得するとともに、模擬授業の実施とその振り返りを通して、授業改善の視点を身に付けている。 5 地理・歴史教育における実践研究の動向を知り、授業設計の向上に取り組む力量を身に付けている。					
<b>授業計画</b>					
回	表題	学修内容			
1	地理的分野の内容と指導方法	地理カリキュラムの内容構成を概観するとともに、地理的な見方・考え方の育成を図る指導方法について考察する。 小中高における地理カリキュラム、空間認識の発達、地理的な見方・考え方			
2	地理的分野の授業構成と演習(情報機器及び教材の効果的な活用法)	地理的分野の授業構成を検討するため、単元計画・授業計画を作成し、情報機器及び教材の効果的な活用法について考察する。 「まちづくり学習」を事例とする授業計画、教材の開発と活用法			
3	地理的分野の学習指導と演習	地理的分野の学習活動として、「見学・調査」を実施する意義と課題について事例的に考察する。 見学・調査の意義、見学・調査の指導手順、見学・調査実施上の留意点			
4	地理的分野の学習指導案づくり	20分個別模擬授業を実施するための学習指導案を作成する。特に、授業導入部の役割、ねらい等について検討しその意義を認識する。 学習指導案に盛り込む事項、導入部の役割とねらい、授業参加意欲の喚起			
5	模擬授業の実施(20分授業)	導入部を軸とする20分個別模擬授業を実施しながら、板書・発問・資料活用・評価等について体験的に学修する。 板書のポイント、発問のタイミング、資料の効果的提示、授業中の評価			
6	模擬授業の授業分析と改善	20分個別模擬授業についてのワークショップ形式による授業分析を実施し、それぞれの指導上の課題を抽出し、改善案作成の一助とする。 学習者の立場からみた授業評価、指導者の立場による授業評価			
7	地理的分野の学習評価と評価方法	地理的分野の学習評価と評価方法について、評価基準にそった評価問題(模擬授業の内容を評価する)を作成する中で具体的に考察する。 評価の目的、評価の観点、評価の方法、評価結果の活用			
8	歴史的分野の内容と指導方法	歴史カリキュラムの内容構成を概観するとともに歴史的な見方・考え方の育成を図る指導方法について考察する。 小中高における歴史カリキュラム、歴史認識の発達、歴史的な見方・考え方			
9	歴史的分野の授業構成と演習(情報機器及び教材の効果的な活用法)	歴史的分野の授業構成を検討するため、単元計画・授業計画を作成し、情報機器及び教材の効果的な活用法について考察する。 「地域の歴史学習」を事例とする授業計画、教材の開発と活用方法			
10	歴史的分野の学習指導と演習	歴史的分野の学習活動として、「絵画資料」を活用する意義と課題について事例的に考察する。 情報の読み取り、情報の限界性の認識、絵画資料と歴史認識			

11	歴史的分野の学習指導案づくり	30分個別模擬授業を実施するための学習指導案を作成する。特に、授業展開部の役割、ねらい等について検討しその意義を認識する。 学習指導案に盛り込む事項、展開部の役割とねらい、授業中の評価方法
12	模擬授業の実施(30分授業)	展開部を軸とする30分個別模擬授業を実施しながら、板書・発問・資料活用・評価等について体験的に学修する。 板書のポイント、発問のタイミング、資料の効果的提示、授業中の評価
13	模擬授業の授業分析と改善	30分個別模擬授業についてのワークショップ形式による授業分析を実施し、それぞれの指導上の課題を抽出し、改善案作成の一助とする。 学習者の立場からみた授業評価、指導者の立場による授業評価
14	歴史的分野の学習評価と評価方法	歴史的分野の学習評価と評価方法について、評価基準にそった評価問題(模擬授業の内容を評価する)を作成する中で具体的に考察する。 評価の目的、評価の観点、評価の方法、評価結果の活用
15	社会科教育法Ⅱの学修のまとめ	社会科教育法Ⅱの学修の総括を通して、社会科教師として必要な基本的資質を確認するとともに、職業人として積極的に社会の発展に寄与しようとする意欲や態度を身につける。
<p>準備学修(授業外の自己学修)</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1 授業計画に示されているキーワードに沿って、準備学修を深めておくこと。特に、専門用語については、参考文献やネット情報等を活用し、確実に調べておくこと。</li> <li>2 各回の学習指導案づくり、模擬授業については、事前準備を実施し、講義時間内に完結するように学修しておくこと。</li> <li>3 特に、各自の意見を表明する項目については、学修を深め、根拠を示しながら論理的な文でもって記載すること。</li> </ol>		
<p>成績評価の方法・基準(%表記)</p> <p>筆記試験 70%(専門用語を使用し、根拠を示しながら論理的な文でもって解答すること。各自の意見を表明する際には、感想でなく、論理的に説明すること。)</p> <p>模擬授業の発表内容 30%(ABC3段階評価 )</p>		
<p>教科書</p> <p>中学校学習指導要領、高等学校学習指導要領 (平成20年3月告示 文部科学省)</p> <p>新中学校学習指導要領 (平成29年3月告示 文部科学省)</p> <p>中学校学習指導要領解説 社会編 (平成20年9月 文部科学省)</p> <p>高等学校学習指導要領解説 公民編 (平成22年6月 文部科学省)</p> <p>参考書等</p> <p>中学校教科書『新編 新しい社会 地理』(東京書籍)</p> <p>中学校教科書『新編 新しい社会 歴史』(東京書籍)</p> <p>授業中にも適宜資料を配付する。</p>		
<p>履修上の注意・学修支援</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1 出席確認をスムーズに行うため、指定された座席に着席する。</li> <li>2 遅刻・早退等不在時間計10分以上は、受講時間確保上、出席したとは認められない。</li> <li>3 全人教育及びキャリア教育の観点から、講義に際しては礼儀とけじめを重視し、講義の開始時・終了時には起立の上、受講者相互の挨拶を励行すること。</li> <li>4 望ましい受講環境の維持のため、私語は厳に慎むこと。</li> </ol> <p>受講上の疑問や講義内容に関する質問がある場合は、講義前後に問い合わせると共に、オフィスアワーを積極的に活用すること。</p>		